

# タイトル『手系氏』



著者：東野圭吾

出版社：文春文庫

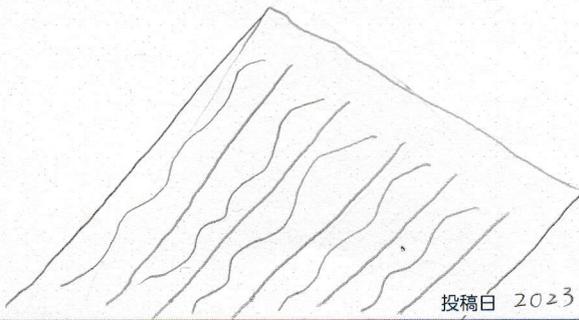
とある事件で服役中の兄剛志とその弟の直貴のお話です。

直貴は自分の兄が犯罪者ということ、様々な壁にぶつかります。

しかし、それらを直貴がのりこえていく姿や場面がとてもおもしろく、感動します。

またキーワードである「イメージ」が言葉が進むにつれてその意味が変化していくこともおもしろさの一つです。

この言葉からは、兄と弟の手系氏でのやりとりの内容がしだいに変化していくことや人の系絆、様々な人物の心の変化などを感じることが出来ます。



投稿日 2023年 11月 9日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

H・R

年齢

14

仙台市

YAコーナー